

令和8年度 全国学力・学習状況調査

大阪市立田辺中学校 調査結果と課題分析

データから読み解く田辺中学校の底力

国語・数学・英語の全教科において、 全国の平均を大幅に凌駕

国 語

平均正答率

67.0%

(全国：63.9%/大阪市：60.0%)

【全国との差分】

+3.1pt

数 学

平均正答率

66.0%

(全国：57.0%/大阪市：55.0%)

【全国との差分】

+9.0pt

英 語

平均IRTスコア

550

(全国：499/大阪市：499)

【全国との差分】

+51pt

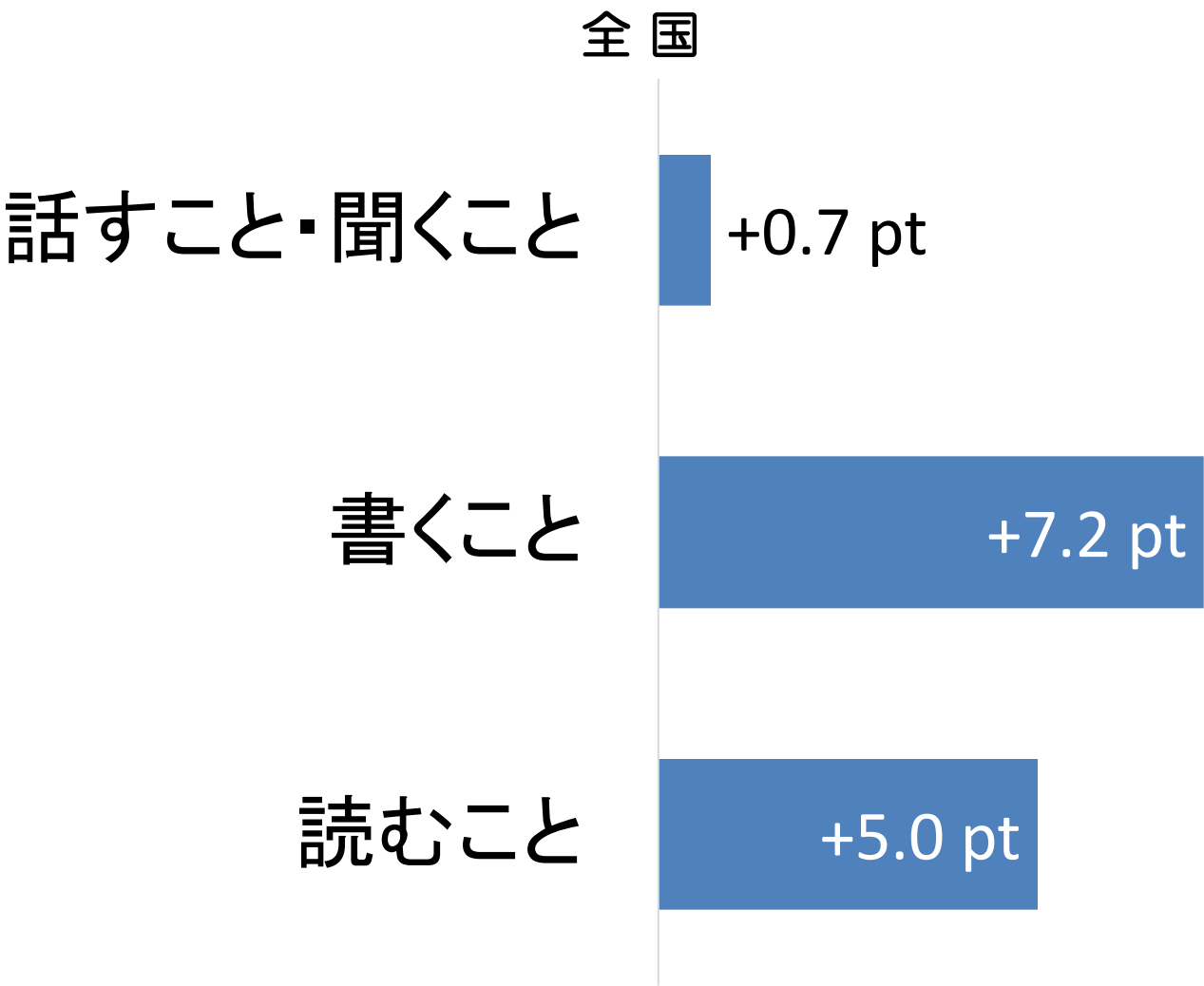
IRT: 項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさし(尺度)で比較できる。

IRTスコア: IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。各教科にCBT・IRTを導入する年の全国平均500を基準値とし、経年比較が可能な形で算出。基準値の全国平均は、算出された各生徒のスコアを足し合わせて平均をとっているため、500に一致するとは限らない。理想的な正規分布(データが平均の付近に集積するような分布)となった場合、標準偏差は100となるが、実際の各生徒のスコア状況により変動する。

国語（成果）

「書くこと」の領域における表現力が極めて高く、全国平均を圧倒している。



※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

石井 スケッチブックを「相棒」と表現したことはどうですか。
田中 「その時々私の気持ちを相棒が教えてくれる」とスケッチブックを人のように表現しているのが印象に残りました。
山田 スケッチブックは今までの自分の気持ちが詰まっているものだから、「相棒」よりふさわしい比喩もあるのではないかと思います。

【よい点や改善点】
〈生かしたいこと〉

【1段落についての交流場面②】

石井 【1段落で、絵を描くことが趣味だということを印象付けるように工夫したのですが、どうでしたか。
山田 最初の「私には趣味がある。」という一文で、趣味は何だろうと知りたくなり、先を読みたくくなりました。
田中 私もそう思いました。

【メモ②】

【よい点や改善点】
冒頭で「私には趣味がある。」と趣味が何かを明かさないうことよって、読み手に先を読みたいと思わせることができた。
〈生かしたいこと〉
随筆を書くときは、書き出しの工夫をする。

【1段落についての交流場面①】

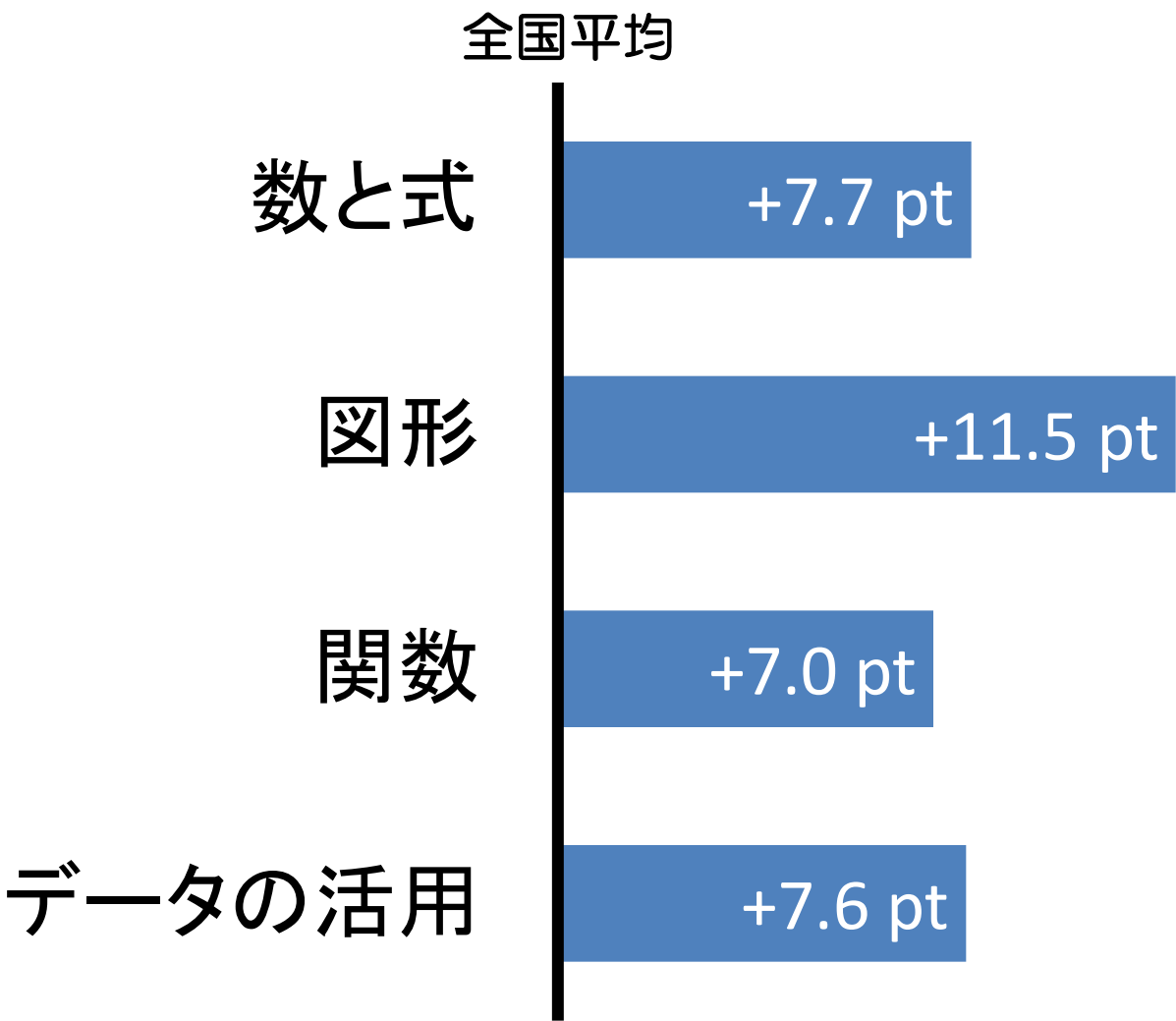
【メモ①】

四 石井さんは、自分が書いた文章について、山田さん、田中さんと交流し、この文章のよい点や改善点と、それを踏まえた今後随筆を書くときに生かしたいことをメモにまとめています。あなたならどのように書きますか。【1段落についての交流場面①】をもとにした【メモ①】の書き方を参考にしながら、【1段落についての交流場面②】をもとにして【メモ②】を書きなさい。
なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

問題番号	問題概要	出題の趣旨	正答率(%)	無解答率(%)
3四	書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く	表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができるかどうかをみる	56.8% (全国:45.0%) +11.7%	4.2% (全国:10.4%) -6.2%

数学(成果)

すべての領域において全国平均を大きく上回っており、
数学的な基盤が非常に強固である。

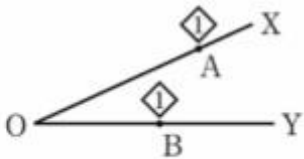


8 下の手順で、鋭角である $\angle XOY$ の2倍の大きさの角が作図できます。

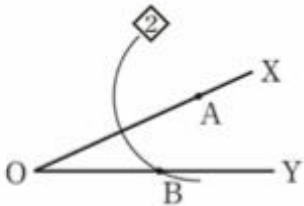


手順

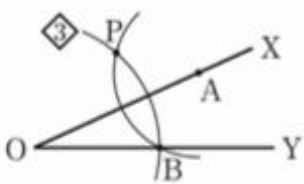
① 辺OX上に適当な点A、辺OY上に適当な点Bをとる。



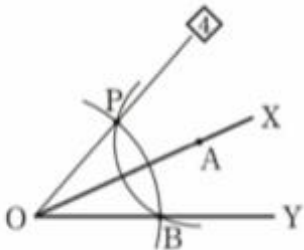
② 点Aを中心として半径ABの円をかく。



③ 点Oを中心として半径OBの円をかき、②の円との交点をPとする。



④ 直線OPをひく。



上の手順で作図した $\angle POB$ は、 $\angle XOY$ の2倍の大きさになります。

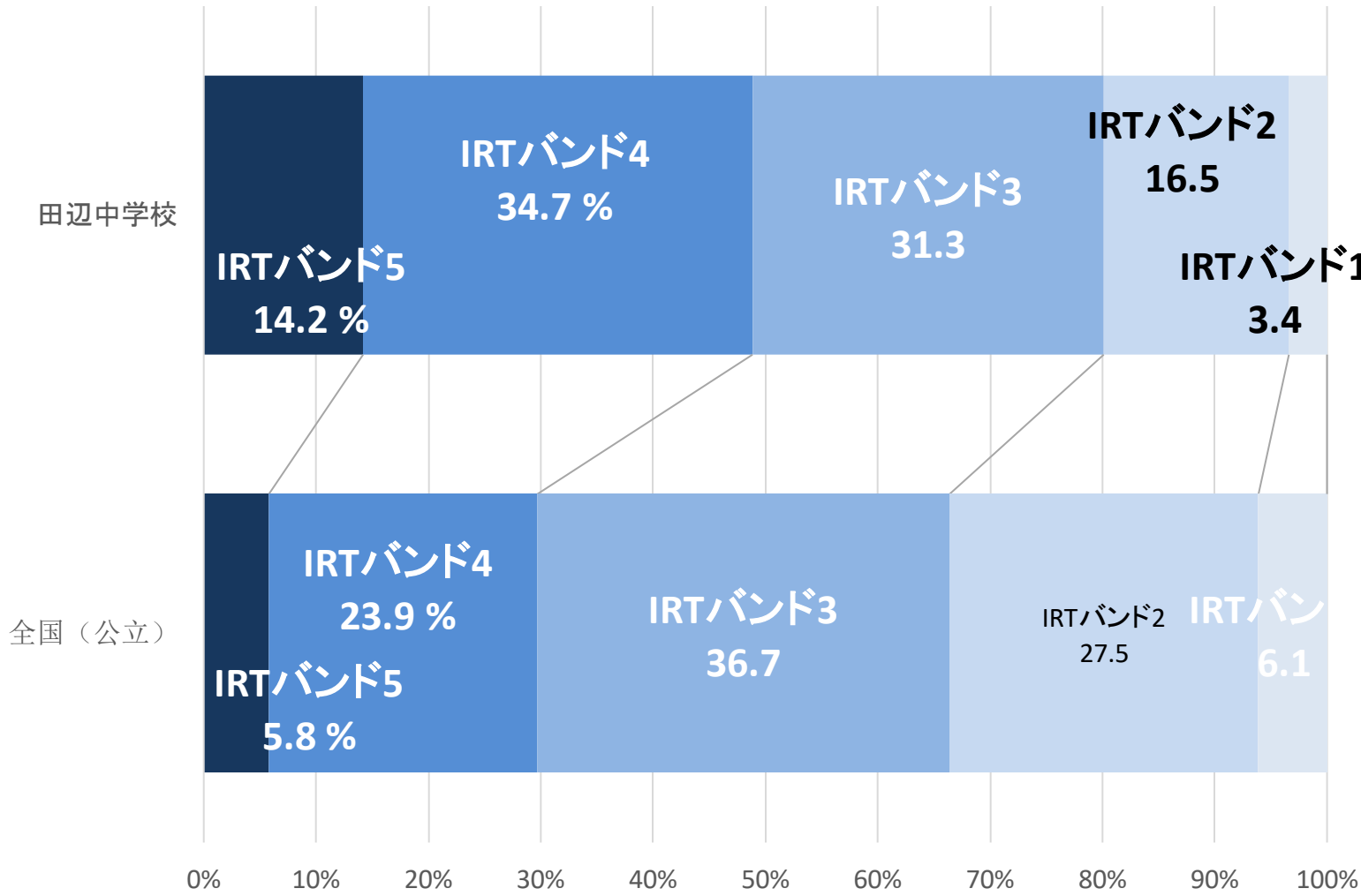
次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

(1) 手順の④の図において、 $\angle AOB$ の大きさが a° のとき、 $\angle POB$ の大きさを a を用いて表しなさい。

問題番号	問題概要	出題の趣旨	正答率(%)	無解答率(%)
8(1)	$\angle AOB$ の大きさが a° のとき、 $\angle POB$ の大きさを a を用いた式で書く	具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えることができるかどうかをみる	77.5% (全国:62.5%)	2.6% (全国:9.0%)
			+15.0%	-6.4%

英語（成果）

約半数（48.9%）が上位水準であるIRTバンド4・5に到達している。



<問題文>
あなたは、「住みやすいまちづくり」についての意見交流会で、友達のたけるの話の聞くところです。話を聞いて、たけるが最も伝えたいことを、<解答欄>の1から4までのの中から1つ選びなさい。

再生ボタンを押してください

【たけるのスピーチ】

<解答欄>

- ☐ 1 Many people from different countries are living in our city.
- ☐ 2 We need to help people from abroad with many different languages.
- ☐ 3 Our city improved the website for people from abroad.
- ☐ 4 People from abroad can get useful information from the website.

英語の音声スクリプト

Many people from different countries are living in our city. Some of them don't understand Japanese. So, there are some language problems. I think we need to help people from abroad with many different languages. Five years ago, our city made its website in Japanese and English. However, people from abroad wanted it in other languages too. Then, our city improved it. They can get useful information from the website now. It is important to help them with many different languages.

問題番号	問題概要	出題の趣旨	正答率(%)	無解答率(%)
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる	71.0% (全国:55.6%) +15.4%	0.0% (全国:0.2%) -0.2%

国語(課題)

文脈に即して正しく漢字を書き、文章の中で使うことに課題

□る	必要な物を入れて、集める。 「きのこを□る」
取る	持つ。握る。得る。除く。 「手に取って見る」 「免許を取る」
捕る	つかまえる。 「魚を捕る」 「外野フライを捕る」
撮る	カメラなどで写す。 「写真を撮る」 「記録映画を撮る」

【文書作成ソフトに表示された意味と用例】

【石井さんが書き加える一文】

何をして遊ぶか多数決をとる子どもたち、飼い主が投げ上げたボールを落とさずにとる犬、遠くの美しい山並みをとる人。

【石井さんが書き加える一文】

「石井さんは、【石井さんが書いている随筆】の「□る」のところに、一文を書き加えようとしています。次の【石井さんが書き加える一文】と【文書作成ソフトに表示された意味と用例】を読んで、あとの問いに答えなさい。

問題番号	正答率(%)	無解答率(%)
3ー	37.4% (全国:39.8%)	0.0% (全国:0.3%)
	-2.4%	-0.3%

(正答の条件)
次の条件を満たして解答している。
① (1)について、「採(る)」と書いている。
② (2)について、1を選んでいる。

1	◎	条件①、②を満たして解答しているもの
2		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
3		条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの
9 9		上記以外の解答
0		無解答

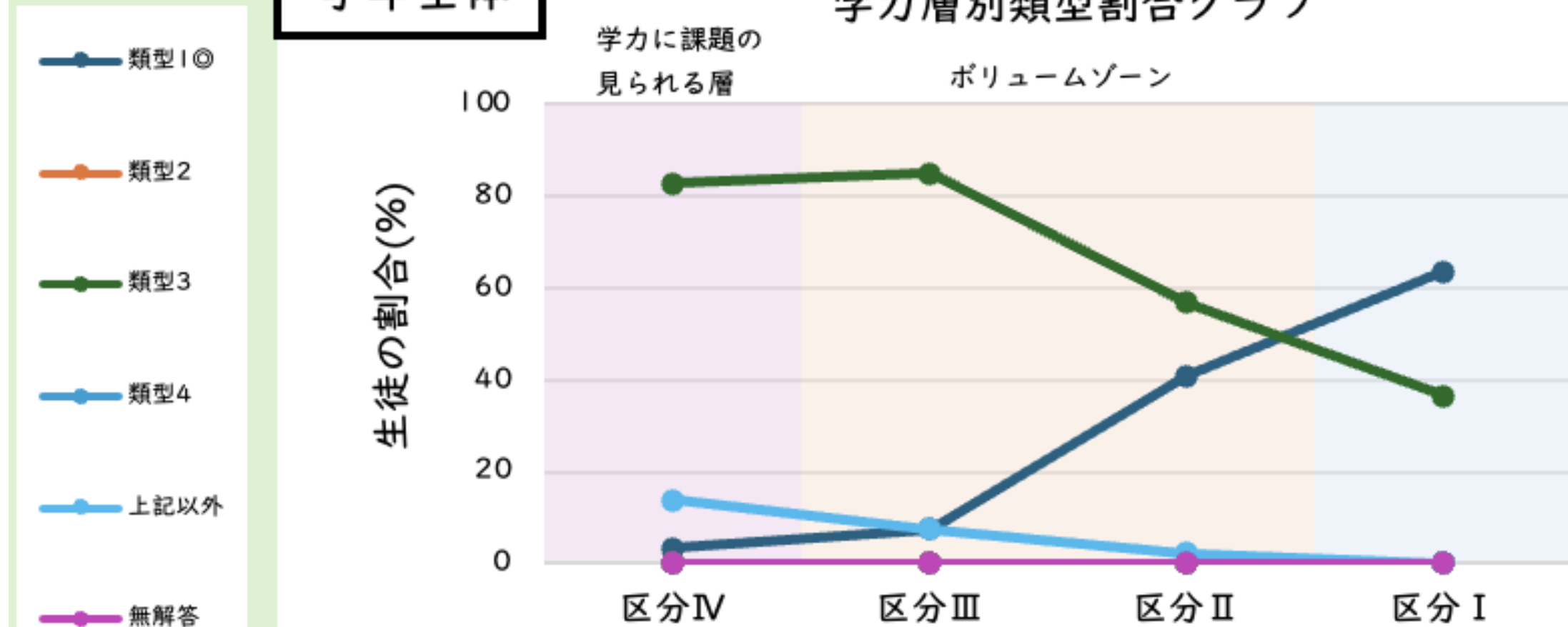
3 2 1
ア ア ア
取る 撮る 捕る
イ イ イ
捕る 取る 撮る

(2) 【文書作成ソフトに表示された意味と用例】を参考にして、【石井さんが書き加える一文】の「□る」の「線部アとイの正しい漢字の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から3までの中から一つ選びなさい。

(1) 【石井さんが書き加える一文】の「多数決をとる」と【文書作成ソフトに表示された意味と用例】の「□る」の「線部」は同じ漢字が入ります。「多数決をとる」の「線部」のひらがなを漢字に直し、楷書でいいねいに書きなさい。

学年全体

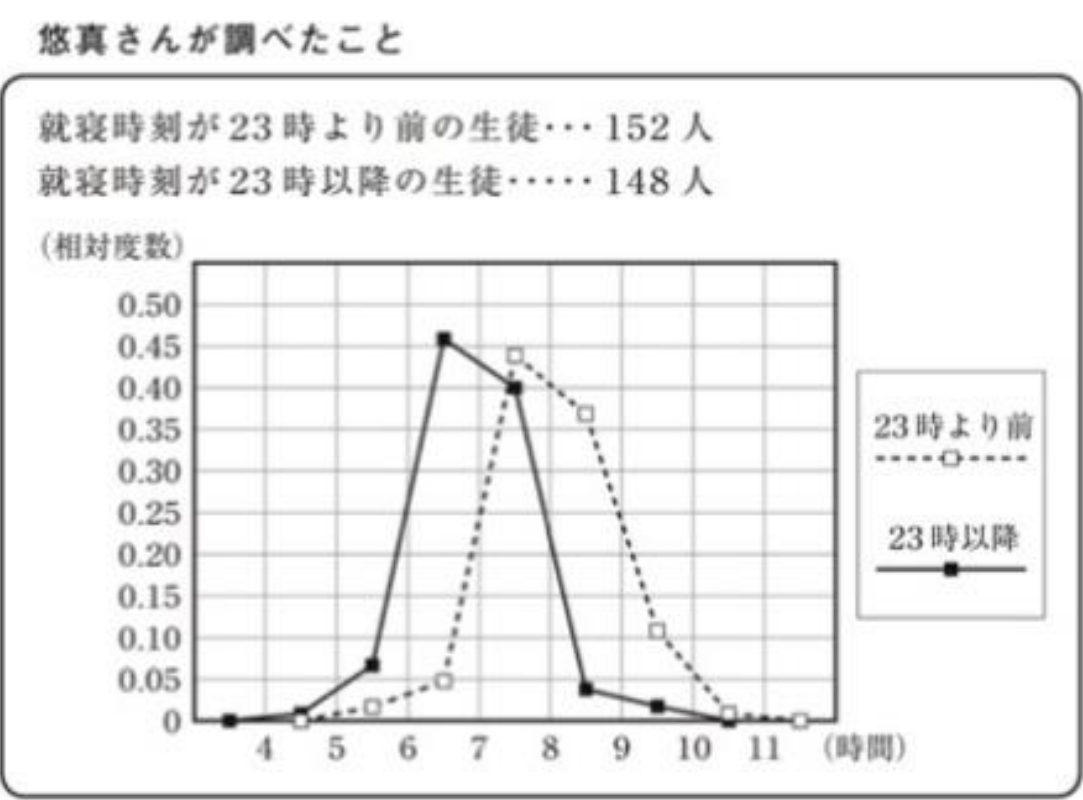
学力層別類型割合グラフ



数学(課題)

データの傾向を読み取り、言葉にして説明する「言語化」に課題

悠真さんは、就寝時刻で分けた場合について、各階級の相対度数を求めて度数分布多角形に表しました。



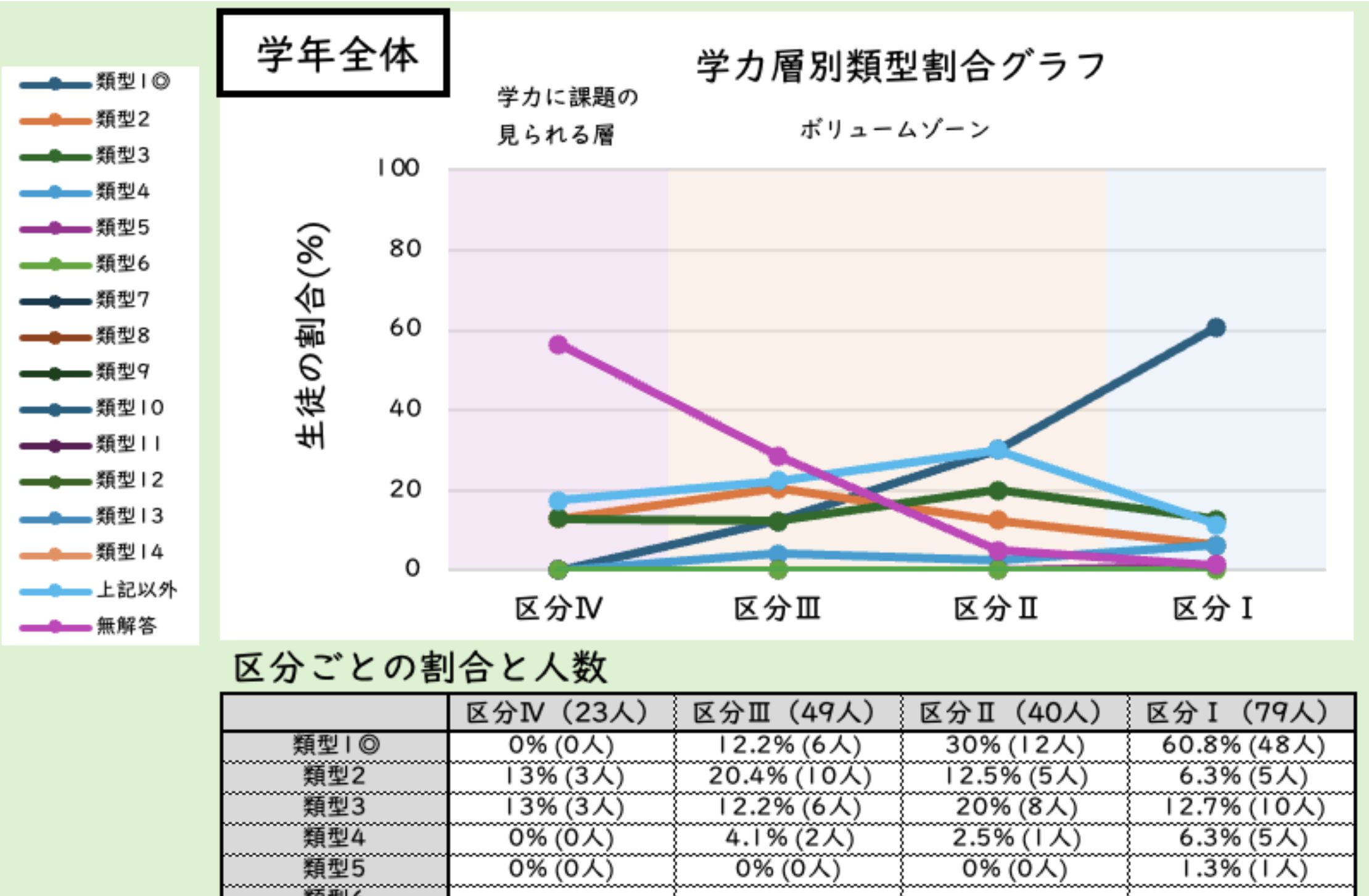
悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形を比較すると、「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、悠真さんが調べたことの2つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明します。前ページの桃音さんのまとめを参考にして、下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある。

問題番号	正答率	無解答率
9(3)	34.6% (全国:31.9%) +2.7%	15.7% (全国:28.9%) -13.2%

(正答の条件) 次の(a)、(b)について記述しているもの。 (a) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形と就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形が同じような形であること。 (b) 就寝時刻が23時より前の生徒の度数分布多角形よりも就寝時刻が23時以降の生徒の度数分布多角形の方が左側にあること。		
1	◎	(a)、(b)について記述しているもの
2		(a)について記述し、二つの度数分布多角形の位置が異なることのみを記述しているもの
3		(a)のみを記述しているもの
4		(b)のみを記述しているもの
5		(a)、(b)について、度数分布多角形を根拠にしているが、読み取りを誤って記述しているもの
9 9		上記以外の解答
0		無解答



英語（課題）

短い文章を読み、要点を捉え、その理由を書くことに課題

中学生のまいこ(Maiko)が英語の授業でインターネットの使用に関する文章を書きました。次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) 【まいこが書いた文章】を読み、まいこが最も伝えたいことを、＜解答欄＞の1から4までの中から1つ選びなさい。

【まいこが書いた文章】

Today, many junior high school students use the internet to play games. However, I think we should use the internet for learning more often because it is useful. For example, there are many good videos for learning English. They are easy to understand. Also, there are many good dictionaries on the internet. We can find the meaning of an English word quickly.

Do you think my opinion is good?

＜解答欄＞

- ☐ 1 Many junior high school students use the internet to play games.
- ☐ 2 Junior high school students should use the internet for learning more often.
- ☐ 3 There are many good videos for learning English.
- ☐ 4 We can find the meaning of an English word quickly.

(2) まいこの質問に対する「あなたの考え」と「なぜそう考えるのか」を、英語で書きなさい。【まいこが書いた文章】にある表現を。

＜解答欄＞ ※半角で入力してください

Do you think my opinion is good?

あなたの考え

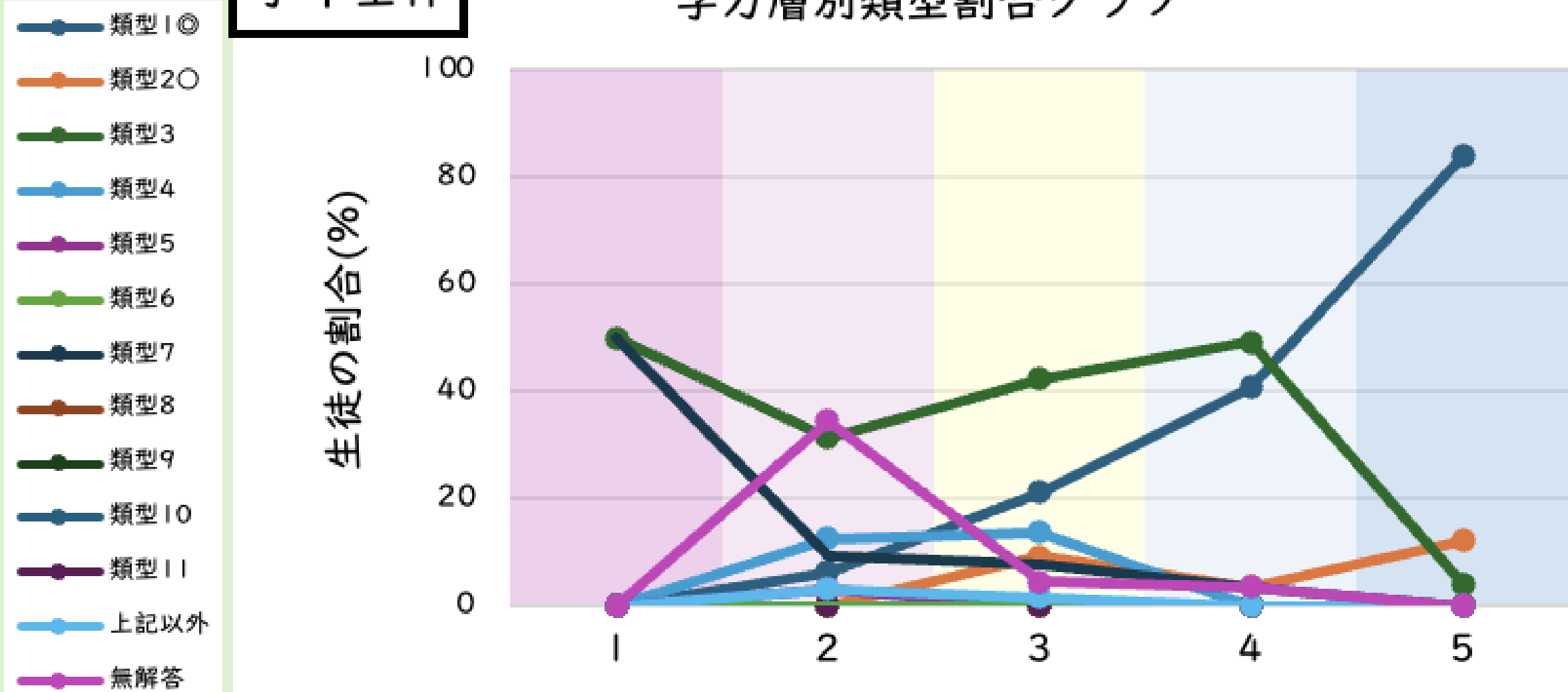
なぜそう考えるのか

問題 番号	正答率	無解答率
10	38.7%	8.6%
(2)	(全国:27.8%)	(全国:14.6%)
	+10.9%	-6.0%

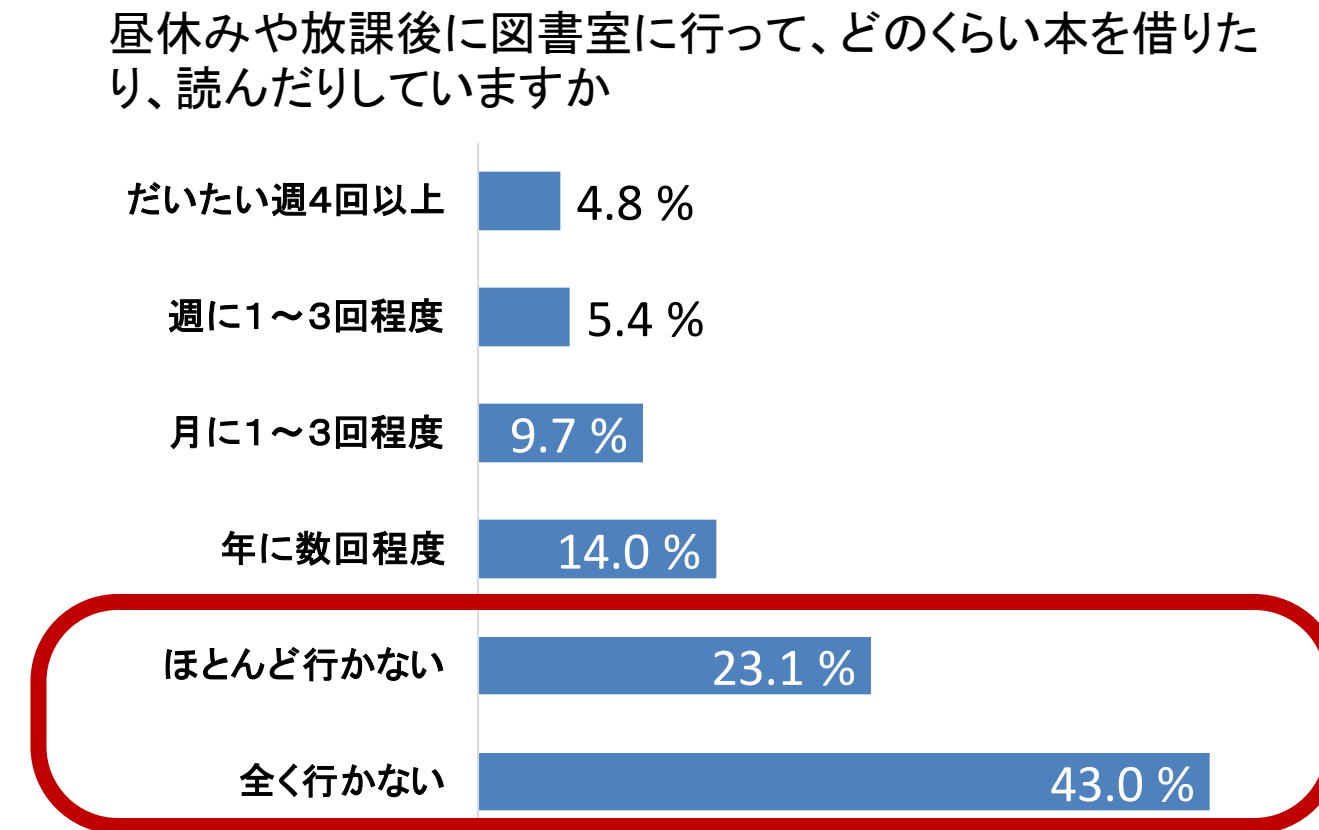
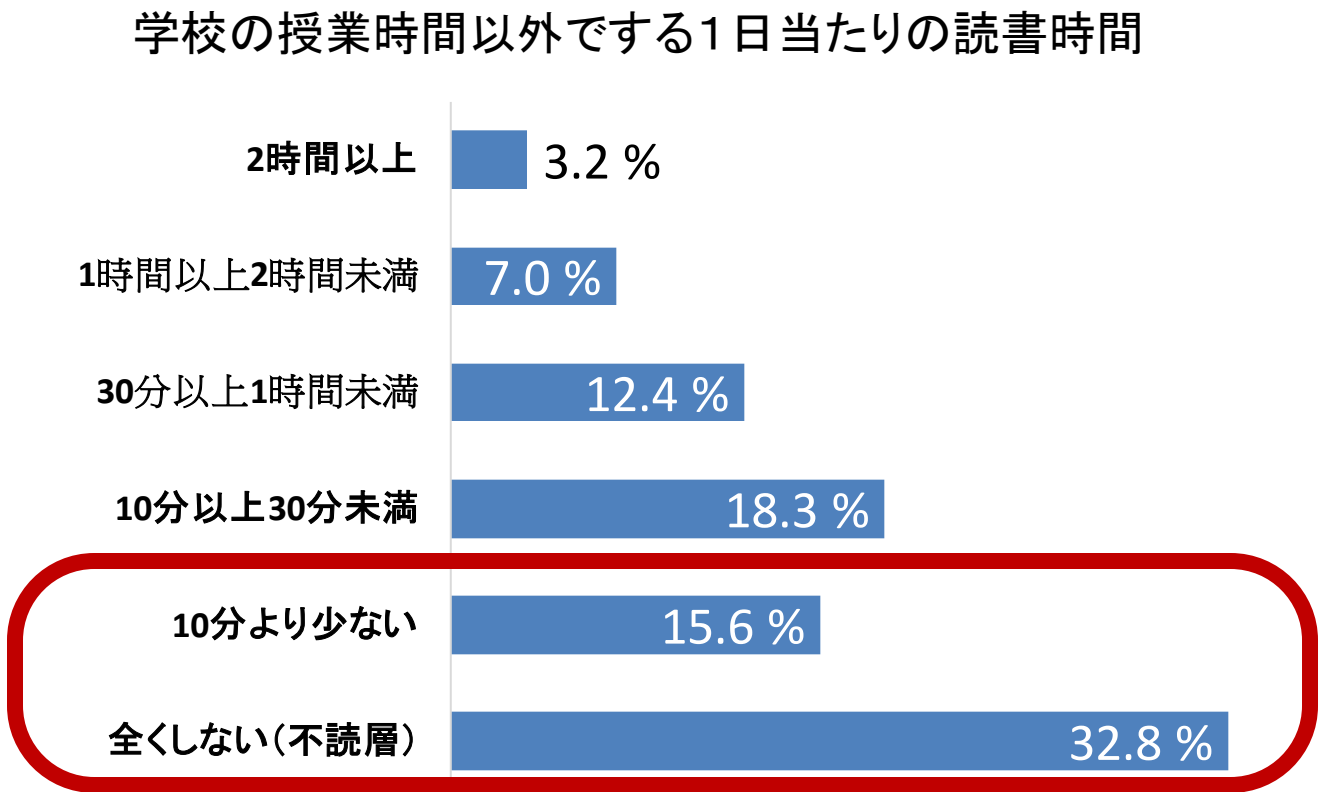
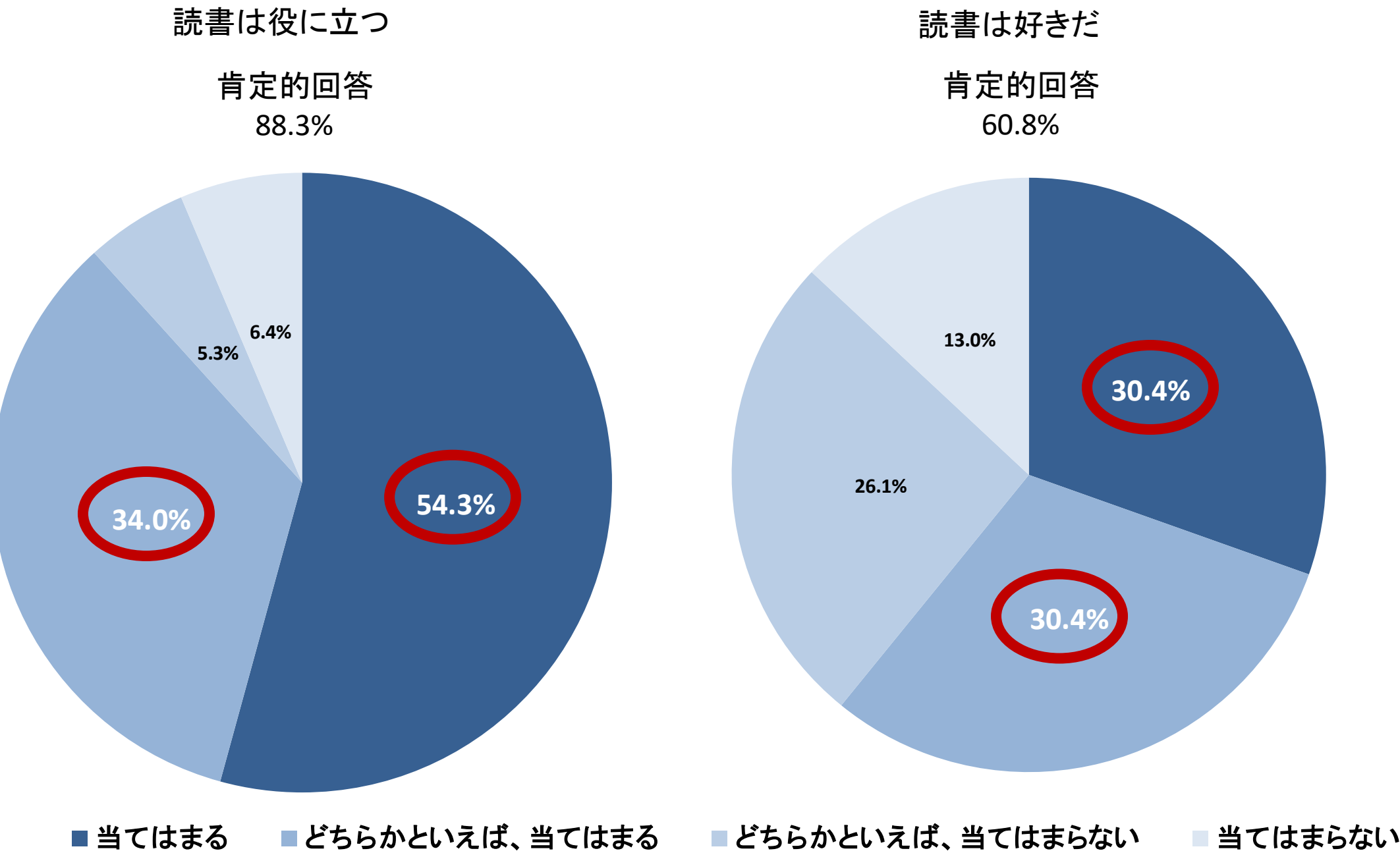
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 条件① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている。〈解答欄〉の「あなたの考え」に該当する部分 条件② 条件①の理由を書いている。〈解答欄〉の「なぜそう考えるのか」に該当する部分		
1	◎	条件①、条件②を満たして解答しているもの
2	○	文法事項などに誤りがあるが、条件①、条件②を満たして解答しているもの ※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す
3		条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
4		条件①を満たして解答しているが、条件②に関わる記述がないもの
5		条件①を満たしていないが、条件②を満たして解答しているもの
6		条件①に関わる記述はないが、条件②を満たして解答しているもの
7		条件①、条件②を満たさないで解答しているもの
9 9		上記以外の解答
0		無解答

学年全体

学力層別類型割合グラフ



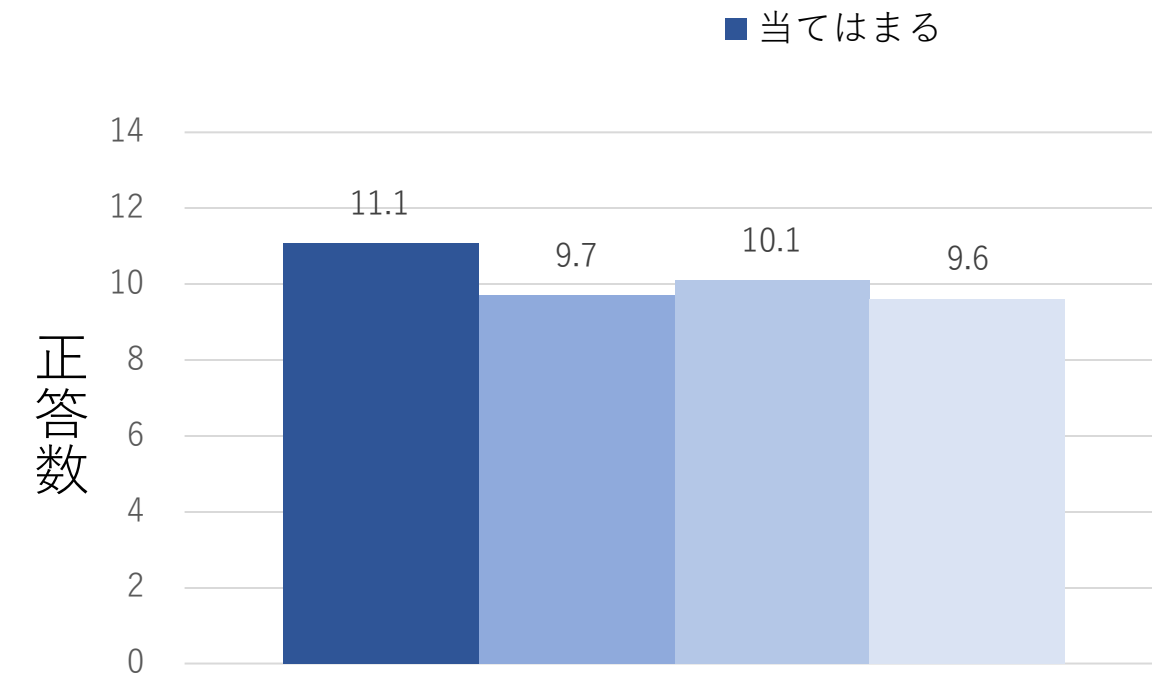
多くの生徒（約9割）は読書は役に立つと感じているが、読書の時間が取れていない。



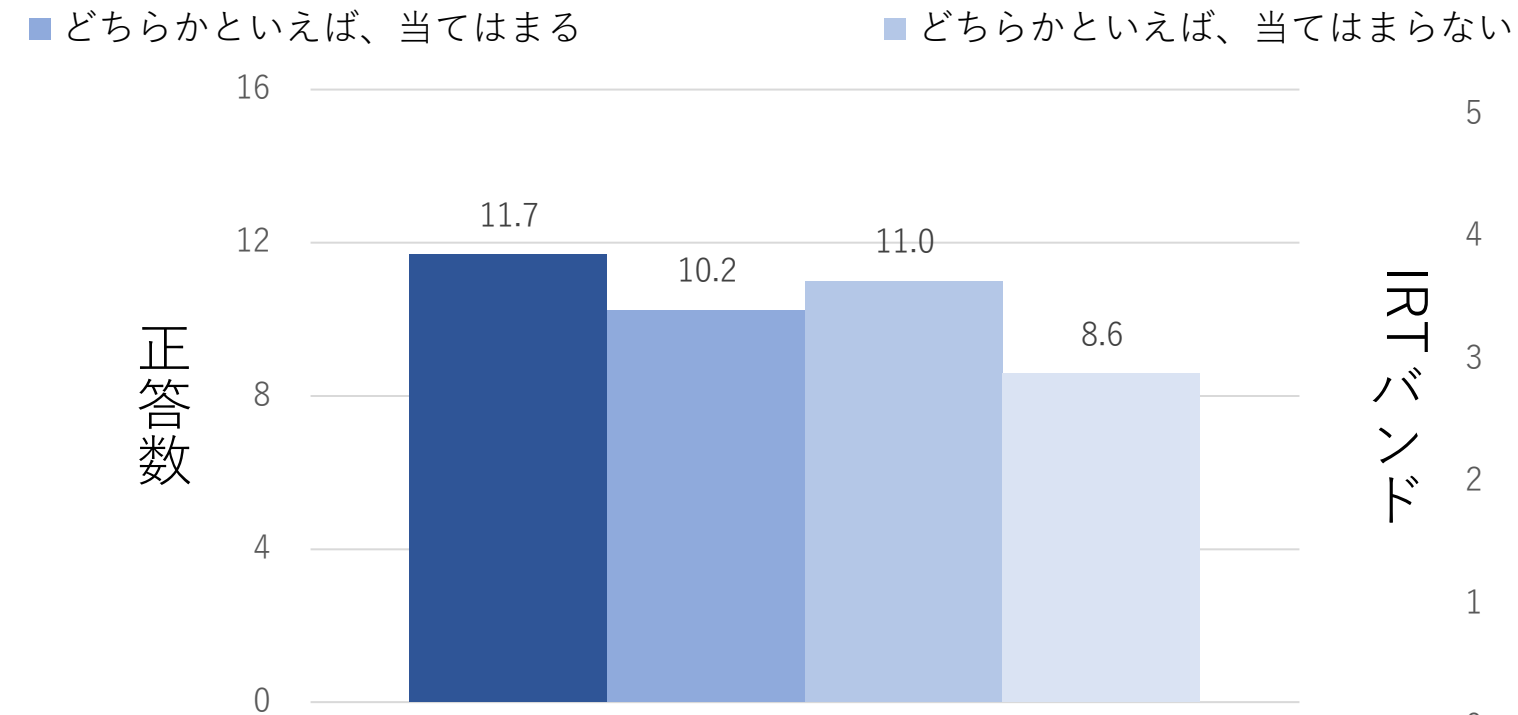
教科の勉強が「好き・得意」×「正答数・IRTバンド」の関係

「勉強は好き・得意」と回答している生徒ほど、各教科の正答数・IRTバンドが高い傾向が見られる。

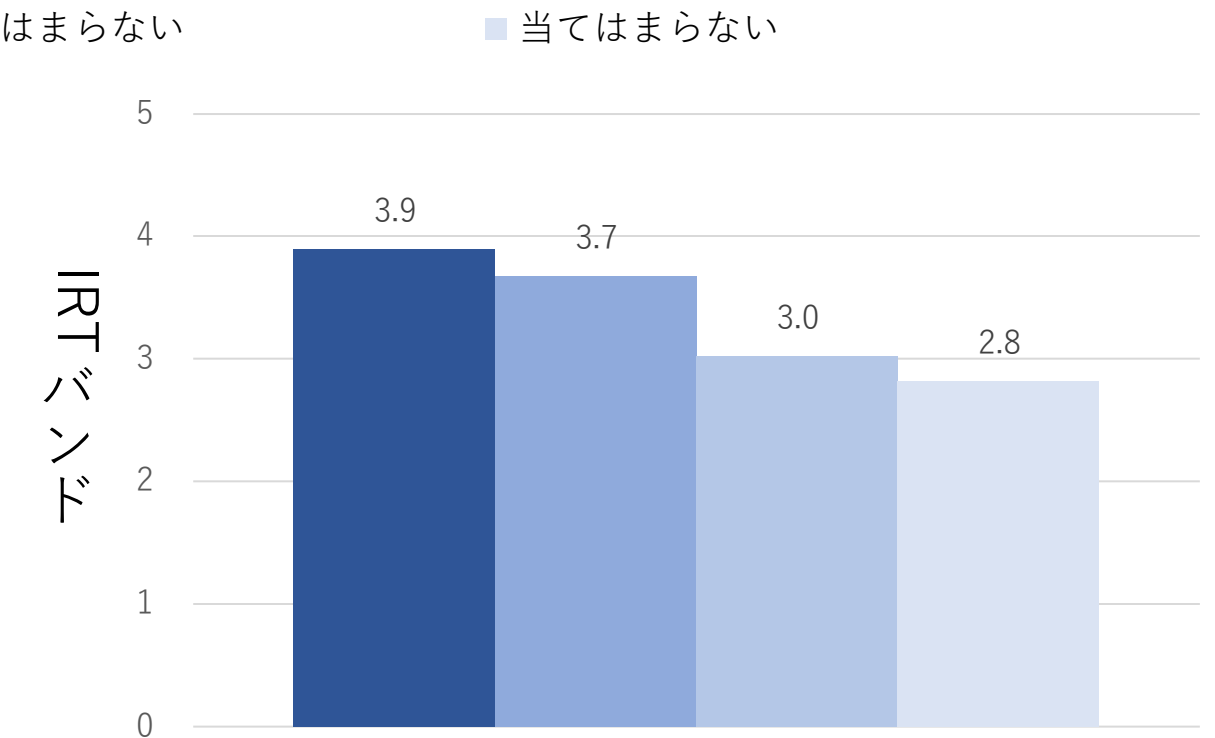
国語の勉強は好きですか



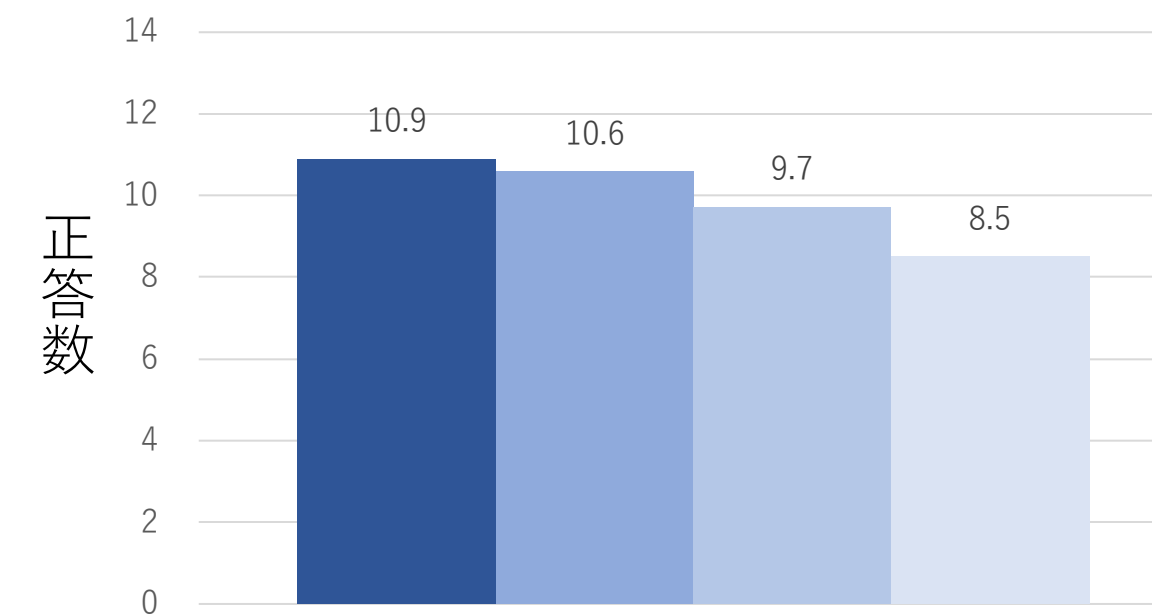
数学の勉強は好きですか



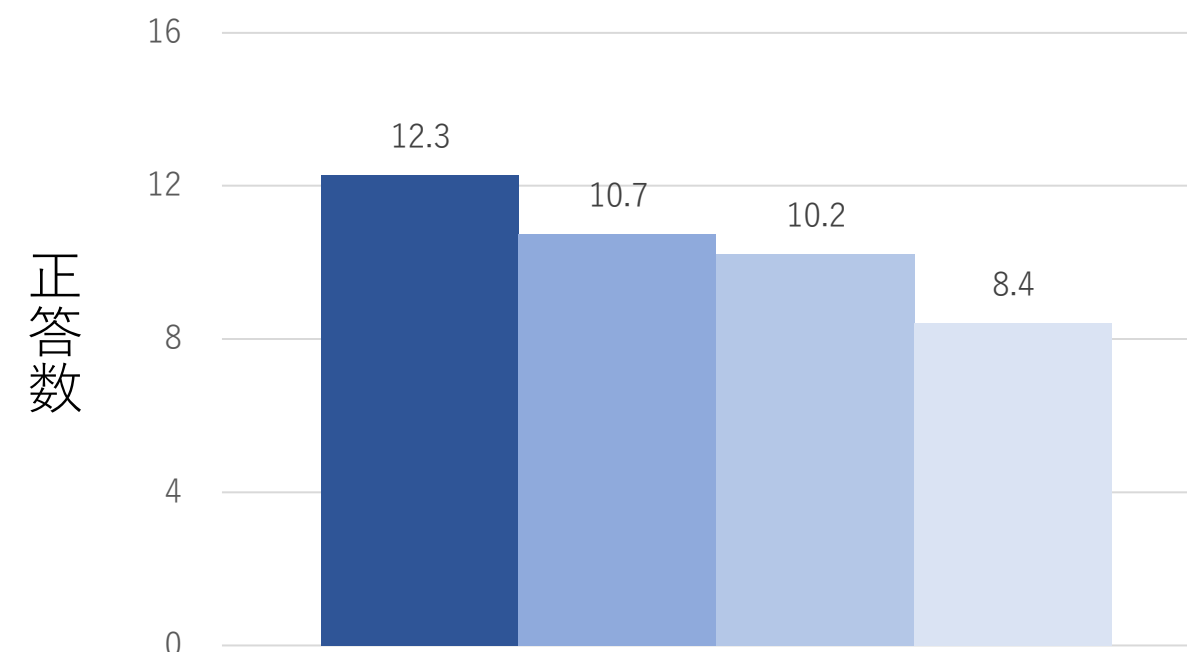
英語の勉強は好きですか



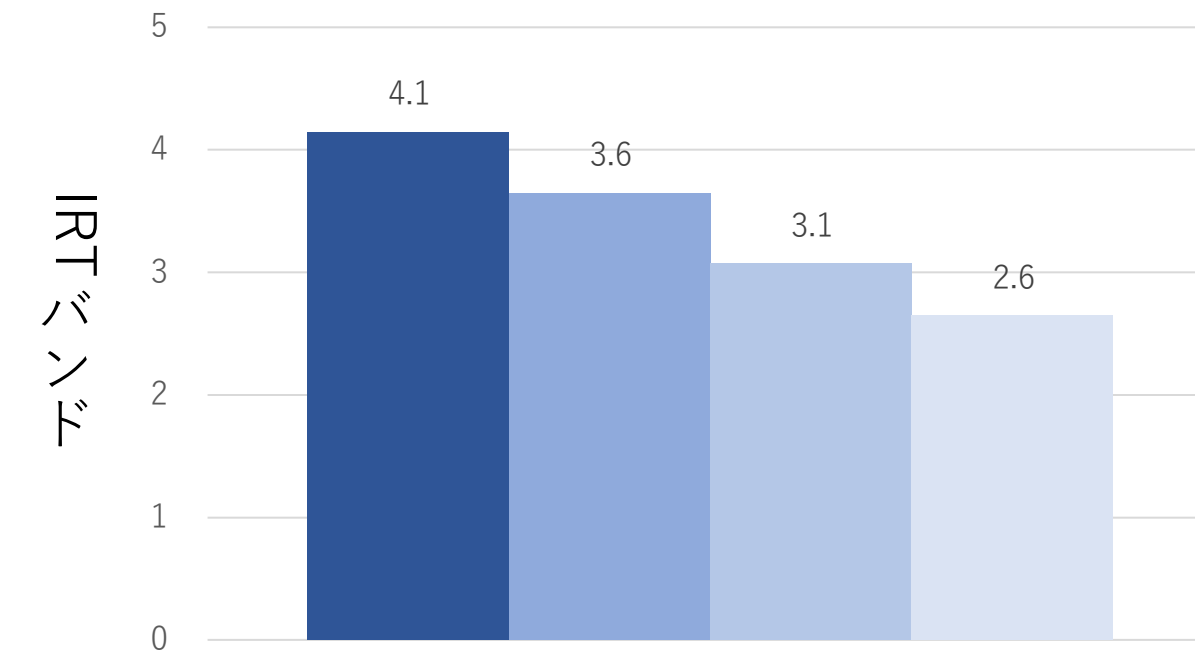
国語の勉強は得意ですか



数学の勉強は得意ですか



英語の勉強は得意ですか

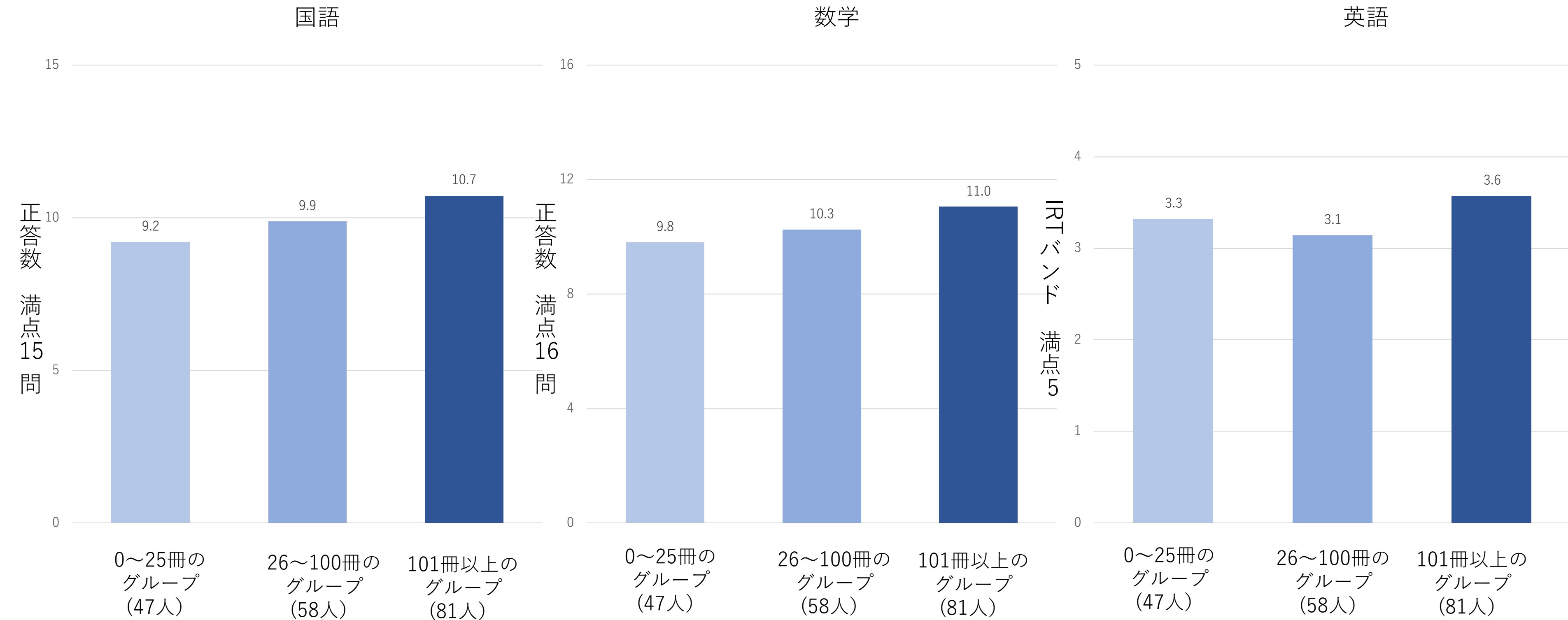


好きを育み、得意を伸ばす

社会経済的背景（SES） × 「正答数・IRTバンド」の関係

家庭の社会経済的背景（SES:Socio-Economic Status）※が低いグループほど、各教科の正答数・IRTバンドが低い傾向が見られる。

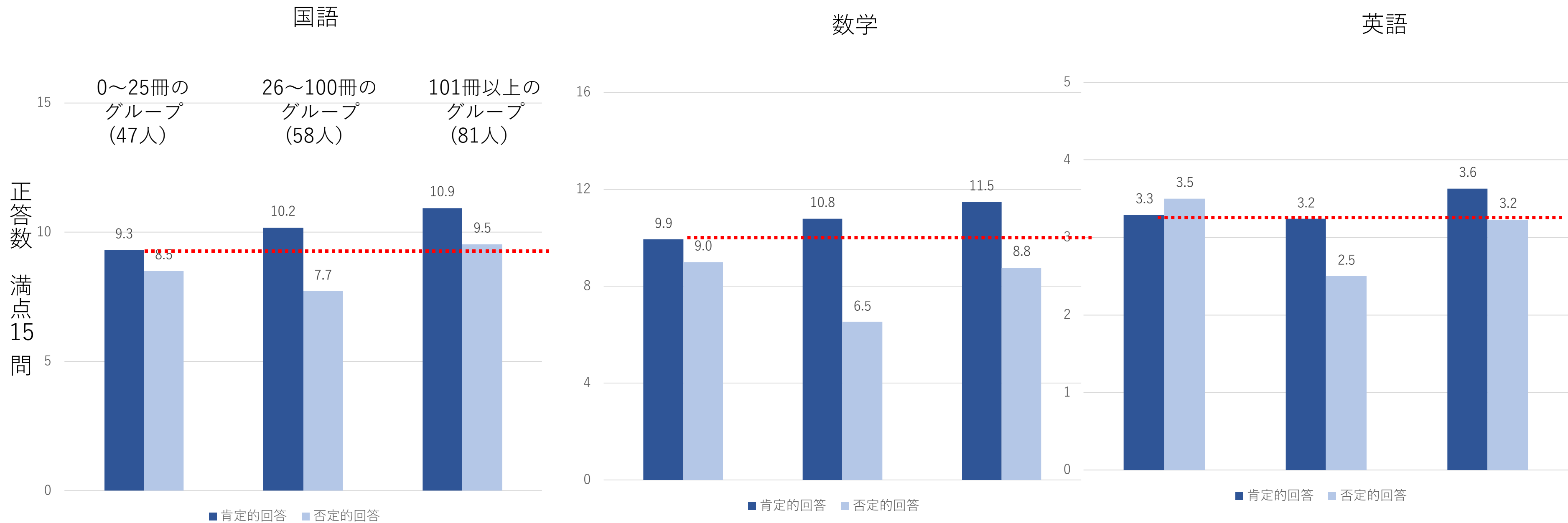
※生徒質問調査（29）「家にある本の冊数」をSESの代替指標として利用



社会経済的背景（SES） × 「探究のプロセス」 × 「正答数・スコア」の関係

SESが低い状況でも「探究的な学びのプロセス（※）」が回せている生徒は「正答数・スコア」が高い傾向が見られる。

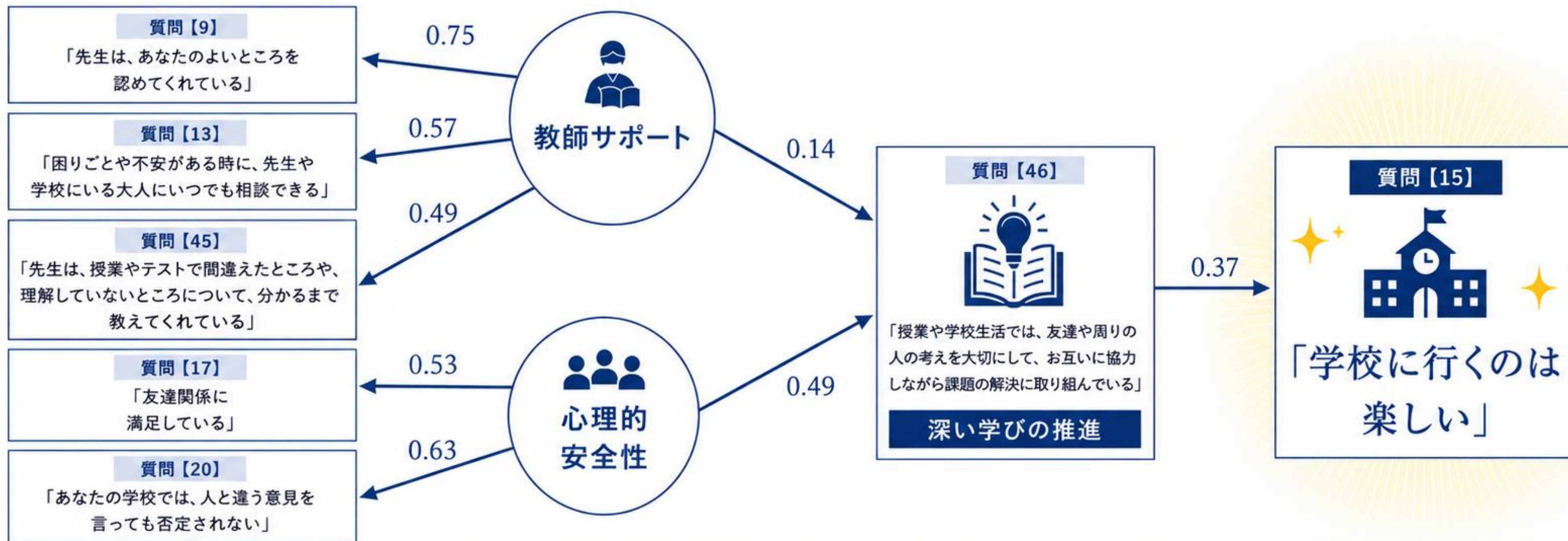
※（生徒質問調査47）「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいる」



探究学習が、SESによる学力格差の緩和への寄与が示唆される。

教師サポートと心理的安全性が生む学校への満足度

教師サポートと心理的安全性により、深い学びが推進され、学校に行くのが楽しくなることにつながる可能性あり



共分散構造分析で実施したこと

- ✓ 複数の観測変数（質問項目）をもとに、教師サポートと心理的安全性という潜在変数を設定
- ✓ 潜在変数と観測変数、潜在変数同士、観測変数同士の因果関係を仮定したモデルを構築
- ✓ 最尤法（Maximum Likelihood 法）を用いてパラメータを推定
- ✓ モデルの適合度を評価し、データとの当てはまりを確認
- ✓ 各パスの標準化係数を基に、要素間の影響力の強さを解釈

共分散構造分析とは？

共分散構造分析とは、互いに関連を持つ複数の要素間の関係性やその程度をモデル化する分析のこと。

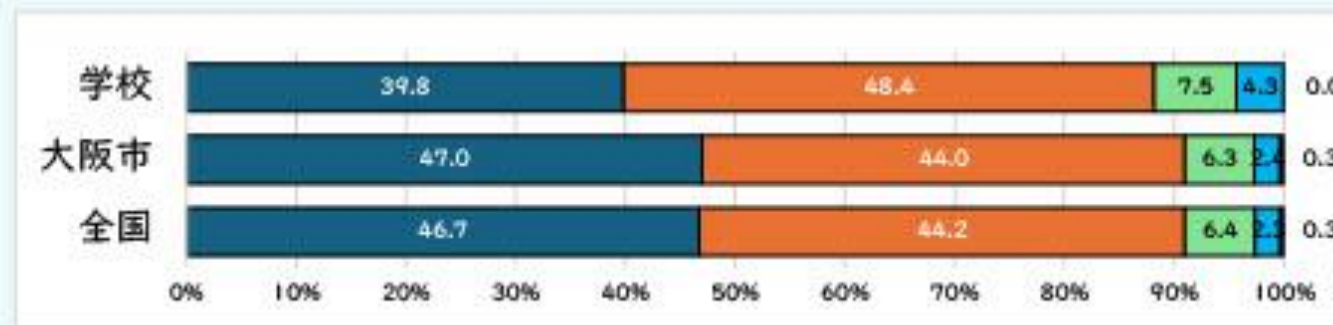
- 片方向矢印は標準化係数であり、絶対値が大きいほど目的変数（矢印の先の項目）への影響力の大きさを示す。
- すべて 0.1% 水準で有意。

生徒質問調査より

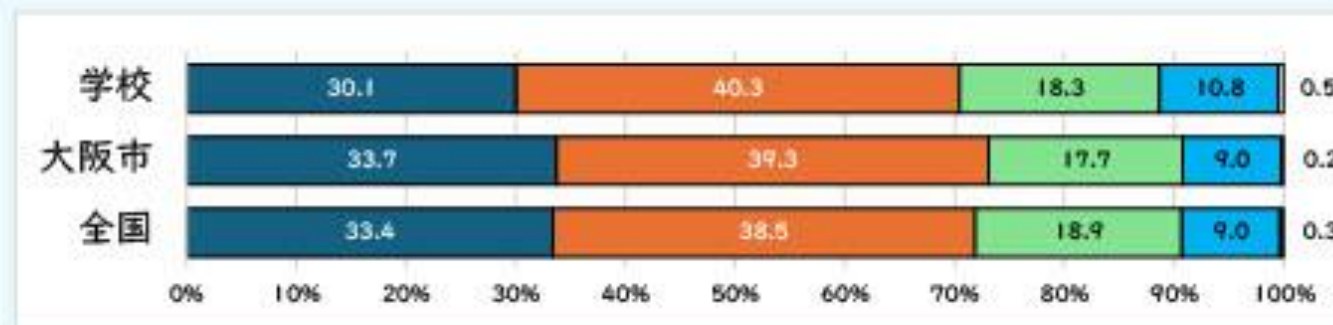
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

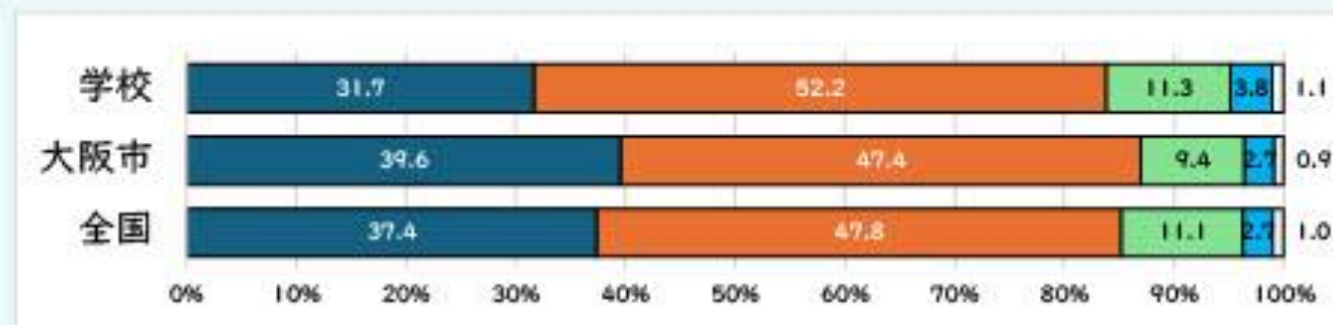
質問番号	質問事項
(9)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
(45)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
(17)	友達関係に満足していますか
(20)	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



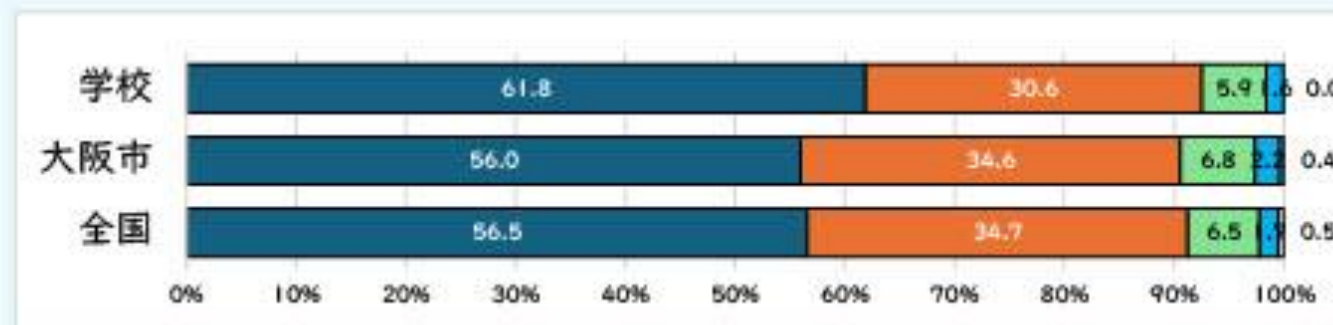
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



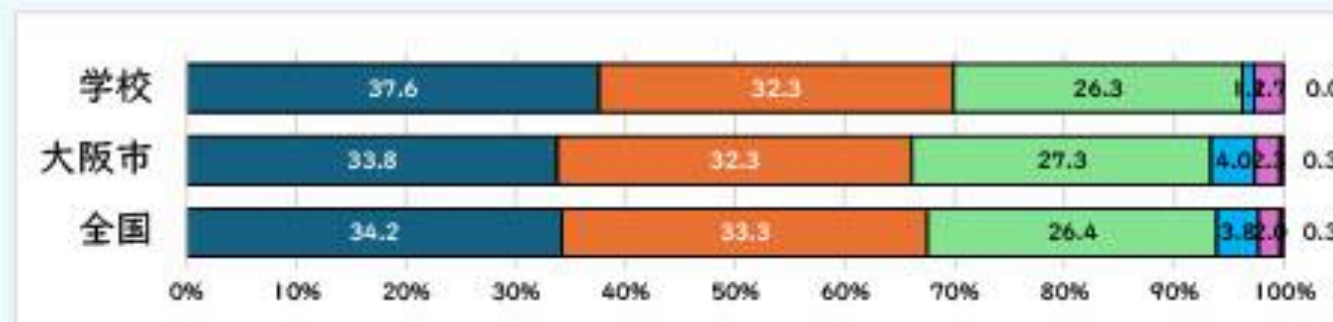
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば、当てはまらない
- 5 当てはまらない

まとめ

成果

- 国語・数学・英語の全教科において、全国の平均を大幅に上回っている。
- 国語において、「書くこと」の領域における表現力が極めて高く、全国平均を大きく上回っている。
- 数学において、すべての領域で全国平均を大きく上回っており、数学的な基盤が非常に強固である。
- 英語において、約半数の生徒が上位水準であるIRTバンド4・5に到達している。
- 家庭の社会経済的背景が低い状況でも「探究的な学びのプロセス」が回せている生徒は「正答数・IRTスコア」が高い傾向が見られる。
- 教師サポートと心理的安全性により、深い学びが推進され、学校への満足度が高まる可能性が示唆される。

課題

- 国語において、文脈に即して正しく漢字を書き、文章の中で使うことに課題が見られる。
- 数学において、データの傾向を読み取り、言葉にして説明することに課題が見られる。
- 英語において、短い文章を読み、要点を捉え、その理由を書くことに課題が見られる。
- 多くの生徒（約9割）は読書は役に立つと感じているが、読書の時間が取れていない。

今後に向けて（ネクストアクション）

- 引き続き、**教師のサポート**と**子どもたちの心理的安全性**を確保し、深い学びを推進していく。
- 朝の読書活動と学校元気アップ視写の取組を、「**言葉を育てる時間**」に再定義する。
- 探究的な学びを推進するとともに、「**問いをつくる力**」を育て探究的な学びの質を高めていく。

「自分らしく未来を切り拓く力」を育成する教育活動の推進

